

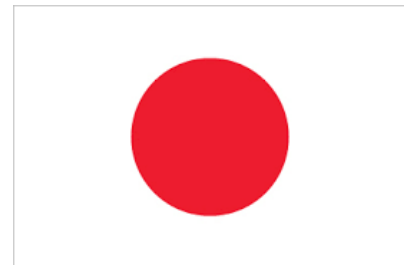


TRANSNATIONAL  
STRATEGY GROUP

## 日本における業務

### 新しい日本の時代

日本の貿易関係と外交政策は、絶え間なく変化する令和の国際通商において過去にないチャレンジの時代を迎えました。新型コロナウイルスパンデミックと、米中関係に付随する情勢不安によって、世界のサプライラインが混乱に陥り、国際市場は落ち着きを失っています。日本やアメリカをはじめとする各国は、経済を支え、場合によっては経済及びビジネスの在り方を改造するために、先見性のある方法を模索しています。



先般の環太平洋パートナーシップ協定（TPP）は最終的にアメリカに拒否されたものの、この重要な時期に先立って、安倍晋三首相は環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的協定（CPTPP）を通して、環太平洋貿易の拡大推進に力強いリーダーシップを発揮しました。日本はアメリカの将来的な加入に対する門戸を開いたままにしています。2020年11月のアメリカの総選挙が、この分野に新たなチャンスをもたらす可能性があります。

さらに、日欧経済連携協定（EPA）も2019年2月1日に締結されました。中国の「一帯一路」イニシアティブに対処するために、日本はアメリカや各国と緊密に協力しています。

そして2019年10月に、日米は日米貿易協定と日米デジタル貿易協定に合意しました。両国は、相互に有益、公平、そして互恵的な貿易を活性化するために、関税などの貿易関連規制、サービス・投資の貿易に対する障害やその他の問題についての交渉を始めることにも同意しており、これは実質的にはより広範囲を対象とした貿易協定であり、米国議会も興味を示しています。

こういった展開はとりわけ、日米双方の企業、それらの貿易関連会社などに、新たな挑戦と共に、画期的で新しいビジネスチャンスをもたらします。このため、このチャンスの全面的な資本化に向け、確実に商業的利害を発展させ、こういった交渉や複雑に絡み合った外交政策や政治的關係が事業機会にどのように直接的影響を及ぼすかを理解するために、タイムリーで実行可能な情報・分析・調整・サポートがこれまで以上に必要とされています。

トランスナショナル日本業務グループは、公共政策、商業戦略、そして事業開発の交差部分で、日本やアメリカ、もしくはトランスナショナル組織が営業している主要第三国の市場への事業参入や拡大を模索している顧客にサービスを提供しています。トランスナショナルチームは数十年にわたって日本やアメリカの政府や産業と業務をしてきており、日本在住もしくは在住経験のあるエキスパートや、日本の経済・言語・文化・社会に詳しいエキスパートが揃っています。トランスナショナルは、日本とアメリカの政治やビジネスの最新動向だけでなく、日米や日欧の関係、さらに今日の貿易交渉や商取引を形成するその他の地政学的かつ地理経済学的要素にも精通しています。

これからグローバル化する日本企業には、トランスナショナルチームのアドバイザーがスムーズにアメリカ市場へ参入するためにサポートし、これには輸入業者・合弁会社のパートナー、ライセンサーおよびその他の対応組織探しや、インバウンド投資奨励金獲得、貿易及び投資円滑化サービス、および政府との関係のお手伝いが含まれます。

さらに広い範囲で見ると、主要市場に拠点を置くトランスナショナルの上級アドバイザーのグローバルネットワークが、日米企業やその関連組織による第三国市場への参入や、このようなベンチャーに対する政府支援獲得に向けてサポートいたします。トランスナショナルチームは、実行可能な提案事項が含まれた緻密で総合的なインテリジェンス分析を顧客に提供し、政府高官レベルで顧客の利害関係について主張することができます。

世界的パンデミックを考慮し、トランスナショナルは新型コロナウイルスや将来的なパンデミックによってもたらされる複雑な意思決定において、世界中の民間組織や政府組織をサポートする専門慣習を確立しており、これには以下が含まれます：

- ・ 疾患の集団発生や潜在的パンデミックに対する準備状態を評価・改善し、リスクを緩和して事業継続措置を修正・強化します
- ・ 顧客や顧客のグローバルネットワークに直接関連するパンデミックや集団発生について早い段階で警告し、迅速で積極的な対応を可能にします
- ・ パンデミッククライシスが発生した場合、健康安全・商業・規制の関連問題に対処する各国政府機関と迅速かつ効果的に協力します
- ・ パンデミック関連の薬剤やワクチンの入手可能性を評価し、これら製品のライセンス認可義務に関する外国政府指令に関する機会の形成・調整・特定をサポートします

#### トランスナショナル戦略グループチーム

トランスナショナル戦略グループとそのグローバルチームは、東京、北京、ワシントンD.C.、および東南アジア、欧州、南アジア、カナダ、中東、アフリカ、および中南米諸国の主要都市に拠点を置いています。トランスナショナルの上級アドバイザーやコンサルタントは、国際的な事業開発だけでなく、それぞれの地

域や産業分野のエキスパートでもあり、すべての大陸で幅広い人脈を発揮できます。それぞれに数十年に及ぶ経験があり、貿易・エネルギー・保健政策・商業・環境・農業・自動車・製薬・高等教育を含む主要分野において、多くの場合政府の最上レベルでの経験があります。トランスナショナルチームは、アメリカ政府の行政機関や立法機関双方における経験があり、国際的な商業目標の達成に向けて、情報と提言の提供を通して顧客を支援します。

お客様の具体的なニーズや、どのようにトランスナショナルがサポートできるかについて、お話をさせていただくのを心待ちにしております。



プレジデント、ダナ・マーシャル

## 日本業務チーム

- 日本・北アジア 業務主任 トマス・センキン博士
- 日本上級アドバイザー マーク・フオティ
  
- 自動車分野 コンサルタント リチャード・ベーカー

- 政策・政治プロセス 上級アドバイザー ロバート・カー閣下
- 国際戦略的マーケティング 上級ディレクター カルミン・D・アロイシオ
- 戦略的コミュニケーション 上級アドバイザー アリ・ミッテルマン
- エネルギー・環境政策 上級アドバイザー ウィリアム・ニッツ
- 議会情勢 上級ディレクター ジョエル・ルビン
- グローバル投資戦略 上級アドバイザー ユージーン・スワンジー
- 大使(退職) エネルギー 上級アドバイザー マリー・ワールリック
- 大使(退職) 国際経済・ビジネス コンサルタント E. アンソニー・ウェイン

お問い合わせ : [info@transnationalstrategy.com](mailto:info@transnationalstrategy.com) | +1-202-320-5499